

神戸大学海事科学部1年生を対象に講演会・座談会を実施

当協会では、2008年より人材確保TFとして優秀な日本人船員（海技者）確保を目的とした広報活動を積極的に行っている。

その一環として、2015年11月20日（金）に、神戸大学海事科学部1年生を対象とした講演会・座談会を実施した。

講演会では当協会田中常務理事が、海技者の仕事について、海事科学部の学生にむけてより詳細な内容を伝えたほか、川崎汽船 國藤一等機関士、商船三井 塩崎二等航海士、日本郵船 高井三等機関士の3名が、学生時代に勉強しておいた方が良いこと、海技者になろうと思ったきっかけ、などの内容について自身の体験を交え講演を行った。



船員の仕事に関心をもつ学生が集まった

講演会後には、新しい取り組みとして、学生と若手海技者が軽食を囲む座談会を行った。座談会では、学生から「航海科と機関科で迷っているのですが、先輩方の選択の決め手は何でしたか」、「海上職から陸上に異動になった場合、どのような仕事をするのですか」といった質問が出た。

また、進路の決め方や学生生活について、人生の先輩として若手海技者らがアドバイスをおくる場面もあった。

当協会では、今後も船員という職業について積極的に広報活動を行うと共に、商船系大学生へ海技者という職業の魅力をアピールするべく、こうした取り組みを継続していく予定。